



アクモス 株式会社

アクモス株式会社 事業説明会

2015年9月25日

代表取締役

飯島 秀幸

再生から成長、創造へ



キーワード

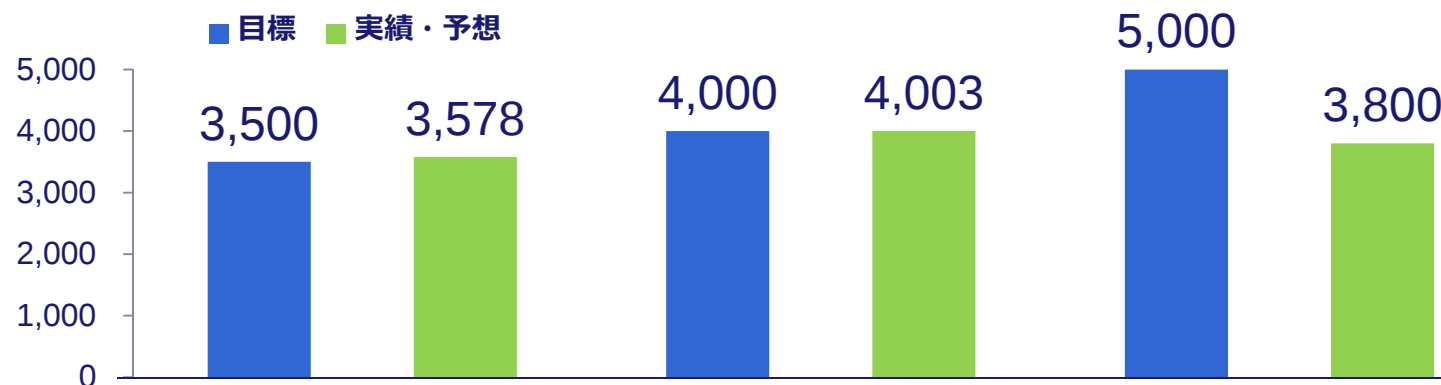
専門性
既存事業の強化

時流適応
新規事業創出

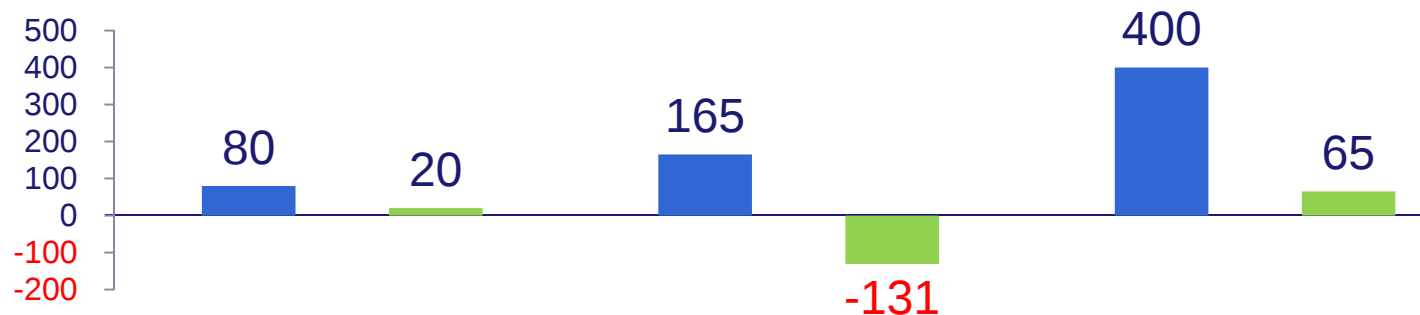
収益力強化
営業利益率10%を目指す

中期経営計画 経営目標

売上高



営業利益



(単位：百万円)

	23期 2014年6月期		24期 2015年6月期		25期 2016年6月期	
	目標	実績	目標	実績	目標	予想
売上高	3,500	3,578	4,000	4,003	5,000	3,800
営業利益	80	20	165	▲131	400	65

中期経営計画の修正について

第24期業績

- ・ 消防通信指令システム5案件納品
⇒ 連結売上高は中期経営計画当初計画値とほぼ同額に
- ・ 消防通信指令システム開発において仕様変更や納品後対応により損失拡大
⇒ 連結当期純損失が298百万円に

第25期計画の修正

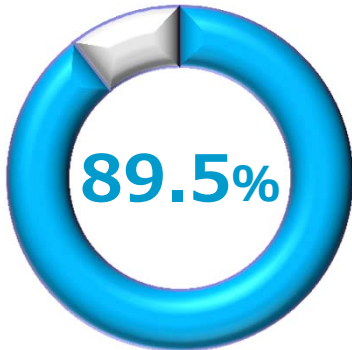
- ・ 消防通信指令システムの事業計画を採算面を重視して大幅に見直し
⇒ 売上減少に伴い、利益も当初計画から減少

	中期経営計画 第25期 当初計画	2015/8/4発表 第25期 予想	差異
売上高	5, 0 0 0百万円	3, 8 0 0百万円	△ 1, 2 0 0百万円
営業利益	4 0 0百万円	6 5百万円	△ 3 3 5百万円
経常利益	3 5 5百万円	6 0百万円	△ 2 9 5百万円
親会社株主に 帰属する当期純利益	2 0 0百万円	3 0百万円	△ 1 7 0百万円

セグメント別 第25期予想

ITソリューション

ITサービス

	34億円	4億円
第25期 売上予想 (※外部売上のみ)	 89.5%	 10.5%
重点施策	・ プラスワンサービスの提供 ・ 強みの強化と活用 ・ 首都圏を中心にした 顧客創造・販路拡大	・ 市場価値のある 商品を開発し競争力強化 ・ 営業活動の推進

**第25期は「創造」をテーマに
新しい価値と顧客の創造を目指す**

第25期の事業方針

既存事業の 収益力強化

- ・ プラスワンサービス提供
- ・ 強みの強化と活用
- ・ 利益率の高いサービスの受注推進
- ・ 受注開発案件の
リスクマネジメント強化
- ・ コスト適正化
- ・ 営業体制の強化

成長分野の 取り込み

- ・ 首都圏地区への本格進出
Java/Android開発分野
アライアンス活用によるクラウド構築サービス
自社のクラウドサービス「SYMPROBUS Cloud」
- ・ GISソリューション改良、
防災分野等のアプリケーション開発

新しい価値と 顧客の創造

- ・ スマートデバイスを活用した
業務用アプリケーション開発

既存事業の収益力強化

機能別組織への再編

従来までの管理本部・事業本部に加え、お客様の創造・開拓を担う部署として「営業本部」を新設し、機能別の三本部制とした。営業体制を強化し、さらなる受注獲得を目指す。

第24期

事業本部内
ソリューション統括センター
・首都圏センター
・茨城センター

10名体制



第25期

営業本部
・営業部
・ソリューション企画室
・プロジェクトサポート推進室

19名体制

小集団採算制度 A-WING

小集団での採算管理を行う管理会計制度として
「A-WING (Acmos Work IN Group)」を構築。

第25期においてアクモス内に少人数組織“ウィング”を作り、
A-WINGを導入した。

時間当たり付加価値を指標とし、情報を共有して採算性の向上を図りながら、全員参加経営の実現による収益性改善と、次世代のリーダー育成を目指す。

成長分野の取り込み

SYMPROBUS Cloud

❖ クラウドへの移行を含むコンサル及びSI業務

- ・ 顧客の課題を解決する最適なサービスの提供
- ・ 協業による新規顧客獲得

協業先：

データセンタ・アプリケーション・ハードウェア提供企業

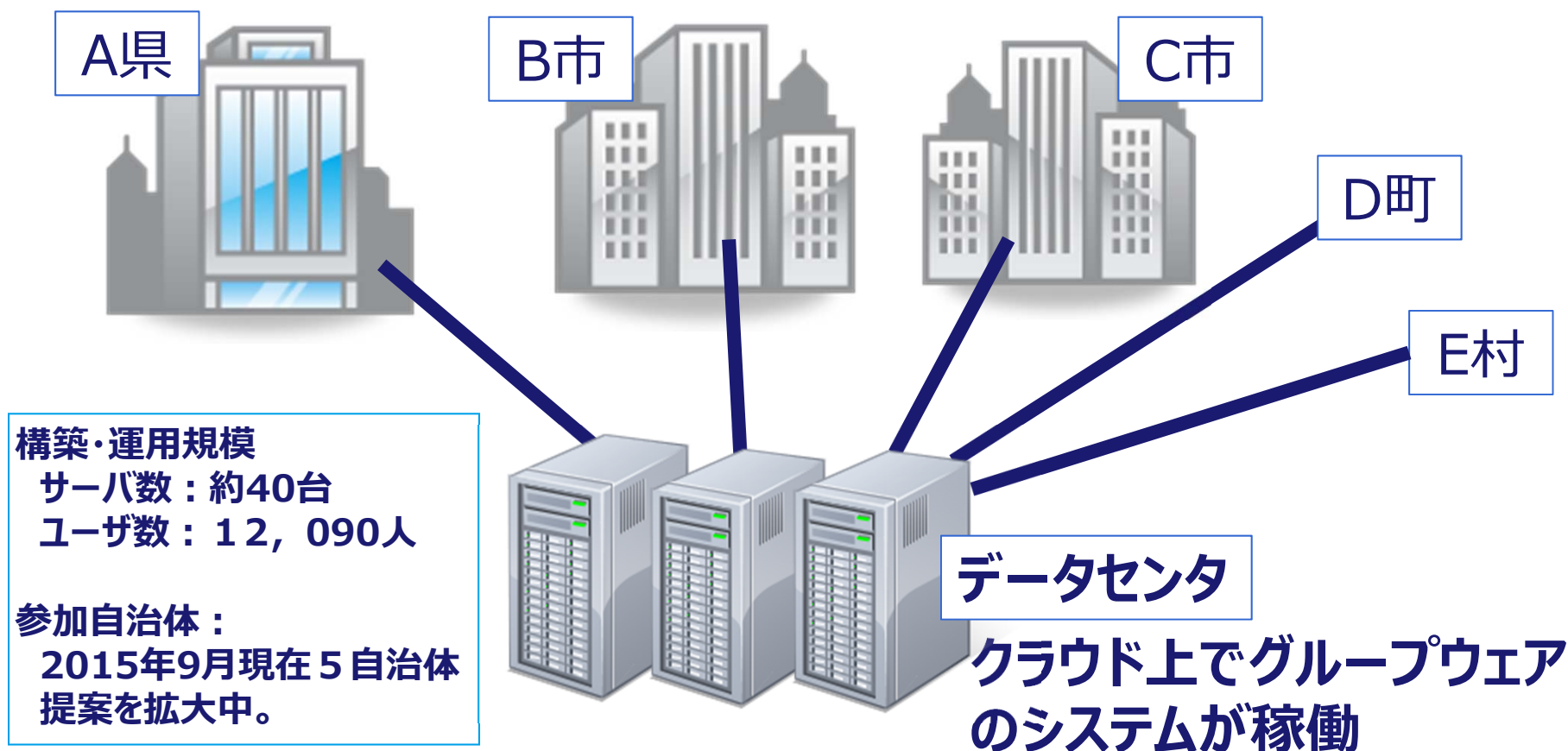
❖ サービスのSaaS展開

- ・ 既存のアプリケーションをクラウドサービス化

クラウドアプリメニュー：

文書管理、アンケート、緊急メール、Webフィルタリング

仮想基盤上で、複数の自治体のグループウェア共同利用・運用を行うことにより、業務効率・運用効率の向上を図っている。
大手通信キャリア事業者との共同参画案件。





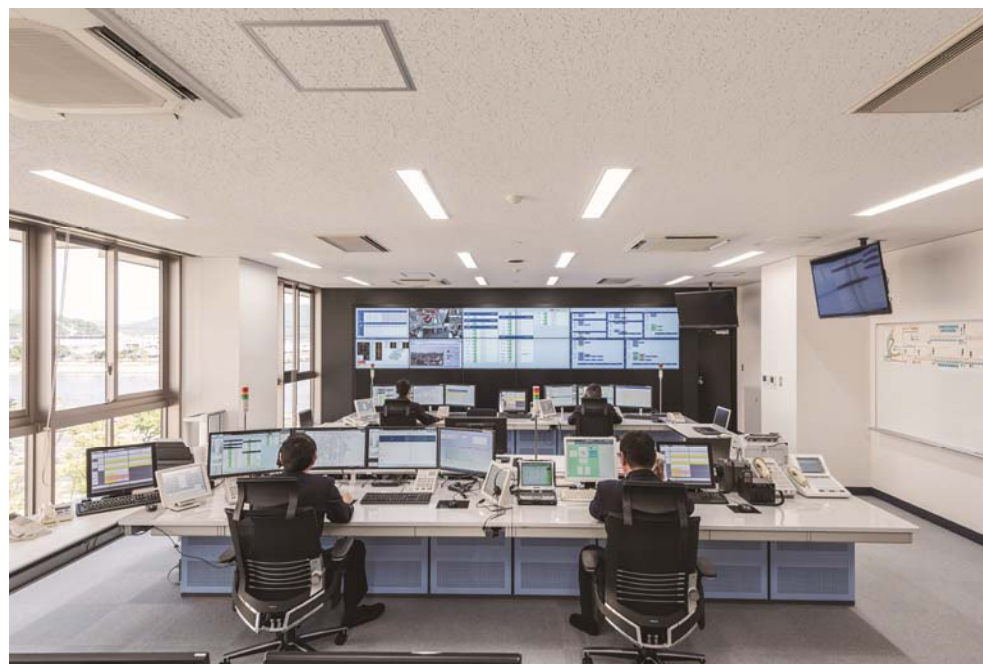
消防通信指令システム

＜2015年9月現在＞

- 2 消防本部・・・安定稼働中
- 2 消防本部・・・車両動態システムupdate対応中
- 1 消防本部・・・フェーズ2 対応中

＜第25期の取り組み＞

- リスクを精査し、小規模案件受注に転換。
- 協業によるパッケージ販売を推進し、1消防本部受注済。
- 保守体制の整備のため、2015年10月をめどにコールセンターを立ち上げ予定。



納品先 指令室



森林GIS 事例紹介 森林ICTプラットフォーム

平成26年度

森林ICTプラットフォーム構築・普及展開プロジェクト

4自治体(岡山県真庭市、美作市、美咲町、鏡野町)、岡山中央総合情報公社、住友林業(株)、(株)野村総合研究所、ASロカス(株)

森林資源量のモニタリング ・災害時の現況把握	森林の適正管理や施業を支援する 森林・林業クラウド
森林・里山を人々が知るための 交流定住プラットフォーム	森林資源量予測シュミレーション による森林経営高度化支援

岡山県真庭市で実施した事業をモデルに、美作市・鏡野町・美咲町に森林ICTプラットフォームを構築し、ICTの利用効果の把握や導入課題、コスト便益の検討を行った。また、北海道中川町・長野県塩尻市・兵庫県佐用町で全国普及のための実現可能性調査を行い、全国展開モデルを作った。

< ASロカスの担当分野 >

- ・ 森林・林業クラウドGISの構築及びデータ作成
- ・ 全国普及に向けたビジネスモデル開拓

平成27年度は、5年に1度の「国勢調査」の年にあたる

統計調査支援サービス

自治体にて各種統計調査を実施する際に使用する、事務支援システム。
調査区の地図機能と、調査員の管理機能を関連付けて運用できる。



<主な機能>

- 調査員の情報管理
- 調査員選定
- 調査区作成
- 調査員割り当て
- 調査区印刷
- 報酬計算
- セキュリティ関連

⇒平成27年度までに全国58自治体へ導入済
東京都23区では、22区で当システムを使用している

新しい価値と顧客の創造

新規事業の取り組み 1

「SYMPROBUS Field」(開発中)

現場作業者向けタブレットサービス。

Android版

利用分野：「保守・点検・メンテナンス業務」

特徴

1. **使いやすい画面・操作**（視覚、視認、操作という人間工学的な観点でUIを設計）
2. **ナビ機能搭載**（可搬型のため車だけでなく、徒歩での現場到着までフォロー）
3. **業務フロー全般のモニタリング**（見える化）をリアルタイムに実現



2015年5月29日 (10:00)
冠和神田小川町ビル様
東京都千代田区神田小川町3-26-8
TEL : 03-5217-3121
MAIL : suzuki@acmos.co.jp
担当者：鈴木様

移動

2015/5/29 9:30

到着

2015/5/29 9:45

作業開始

2015/5/29 10:00

作業完了

ログアウト

「SYMPROBUS Move」(開発中)

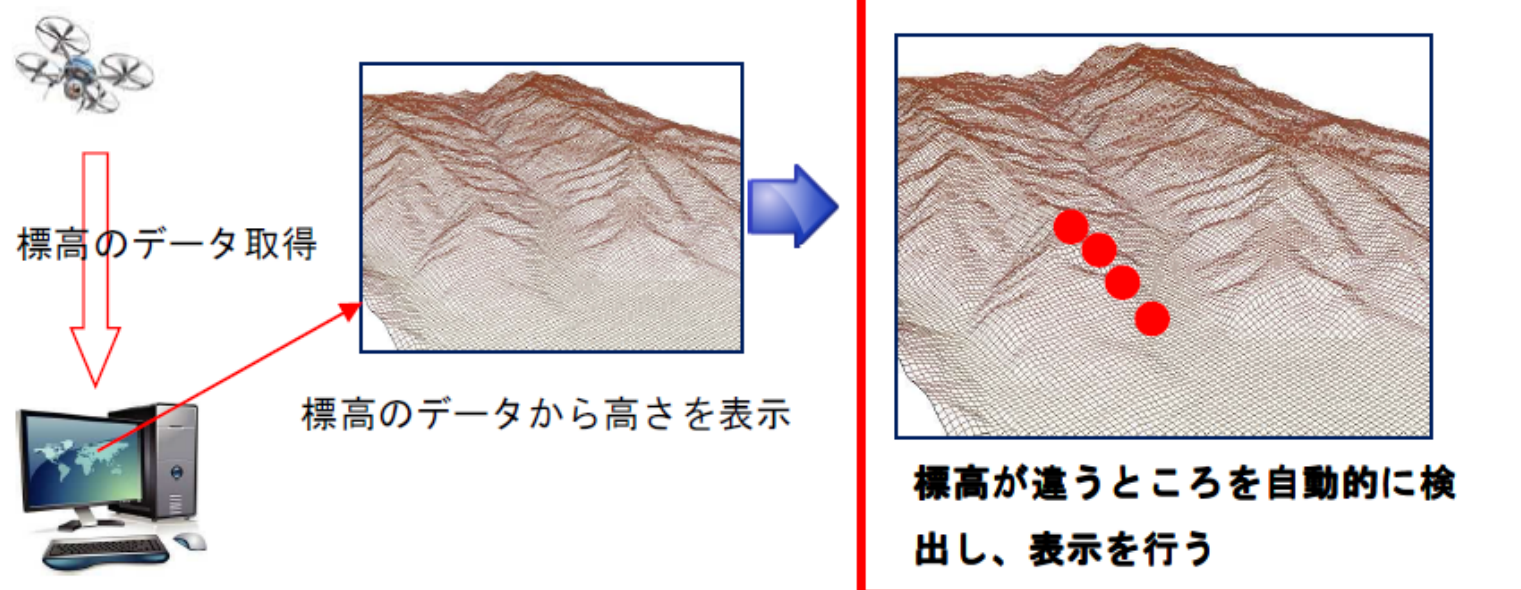
フィールド業務の作業手順をナビゲートするスマートフォンアプリ。
2015年10月にα版をリリース予定。

⇒平成26年度補正『ものづくり・商業・サービス革新補助金』採択
「スマートデバイスを利用したフィールド業務支援システムの試作開発」

ASロカス

U A V（無人航空機）を活用したGISシステム（開発中）

⇒平成26年度補正『ものづくり・商業・サービス革新補助金』採択
「U A Vを利用した、がけ崩れ危険箇所監視システムの試作開発」



がけ崩れの危険な場所が一目でわかり、現地確認など行える

新規事業の取り組み3

マイナンバー制度

マイナンバーとは、住民票を有する全ての人に付与される12桁の番号。
年金・医療保険や税の手続きに使用され、行政機関や勤務先などに通知する。

「マイナンバー制度に対する懸念」(2015年7月実施 内閣府世論調査)

マイナンバーや個人情報の不正利用により、被害にあうおそれがある	38.0%
個人情報漏えいにより、プライバシーが侵害されるおそれがある	34.5%
国により個人情報が一元管理され、監視・監督されるおそれがある	14.4%
その他（特になし、わからない含む）	13.2%

出典：2015年9月3日付 内閣府「マイナンバー（社会保障・税番号）制度に関する世論調査」の概要

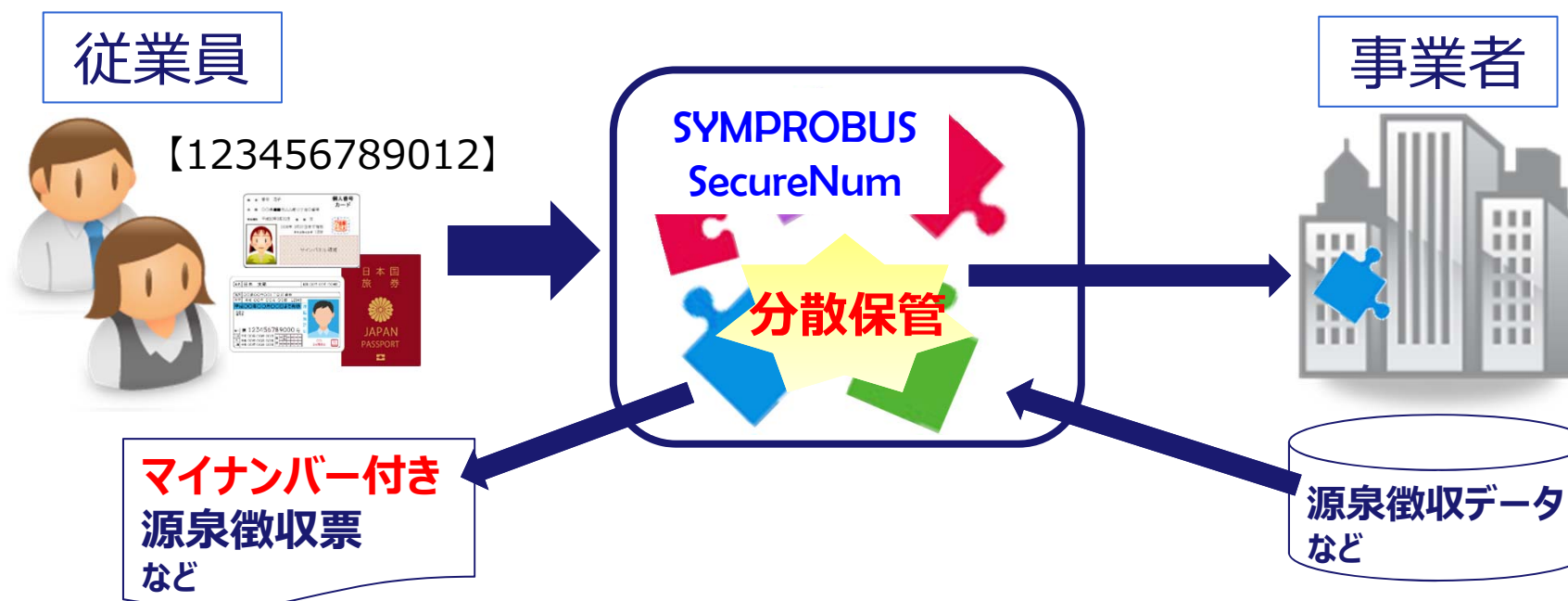


情報の漏えいや不正利用に対する不安が大きく、
マイナンバーの管理は重要な課題に

セキュリティを強化しても情報漏えいの可能性は残る
⇒漏えい対策として情報を解読不可能な断片に分散して管理

SYMPROBUS SecureNum (シンプロバス セキュアナム)

マイナンバー「取得」に向けた準備から、「利用・提供」及び「保管・廃棄」までを、ITを活用して安全に対応するサービス。





SYMPROBUS製品 PR活動

展示会への出展

総称 2015 Japan IT Week 秋 

第6回 クラウドコンピューティング EXPO 秋 クラウド秋

会 期: 2015年10月28日[水]～30日[金]

会 場: 幕張メッセ 小間番号: 7-36

主 催: リード エグジビション ジャパン株式会社

出展製品

SYMPROBUS SecureNum (シンプロバス セキュアナム)

⇒ファイル分散技術を用いたセキュアなマイナンバー管理クラウドサービス。
実際にファイル分散を用いたデモ環境を公開。
展示会では、個別のご相談にも対応します。

SYMPROBUS Move (シンプロバス ムーブ)

⇒あらゆるフィールド業務の作業手順をスマホアプリでナビゲートします。
期間限定の無料トライアルを実施予定。

株主還元等 利益配分方針

配当については、当社単体の業績等を鑑みて決定しておりますが、第24期においては41百万円の欠損金が出ており、期末配当の実施を見送りました。早期の復配実現のため、財政状況の改善を目指してまいります。

配当政策

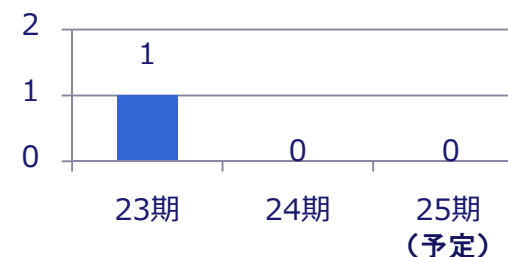
当社は、株主の皆様に対する安定的な配当の実現を、中長期的な重点課題として位置づけております。

【利益配分に関する基本方針】

- ・ 配当原資確保のための収益力向上を図る
- ・ 財政基盤の強化に努める
- ・ 単体当期純利益に対する配当性向30%を目標に連結業績と内部留保を勘案し、配当を行う

配当の状況（1株当たり年間配当金）

（単位：円）



■ 本資料について

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。今後、当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、需給関係等の変化にともない、業績見通しが変更される可能性があります。

また、本資料は、当社の株式購入など投資を勧誘する目的で作成されたものではありません。

なお、本資料の将来の見通しについての記述に関しましては、法令上その手続きが必要となる場合を除き、事前の予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

※「SYMPROBUS」はアクモス株式会社の登録商標です（第5595952号）

※記載された会社名・社名ロゴ・商品名・製品名・サービス名等は、各社各団体の商標または登録商標です。

アクモス株式会社

経営企画室 TEL : 03-5217-3123